



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月4日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社フジミインコーポレーテッド

コード番号 5384 URL <https://www.fujimiinc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史

問合せ先責任者 (役職名) 財務本部副本部長 (氏名) 川島 敏裕 TEL 052-503-8181

四半期報告書提出予定日 2021年11月4日 配当支払開始予定日 2021年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	25,291	23.8	6,158	65.6	6,357	72.1	4,803	68.2
2021年3月期第2四半期	20,427	8.2	3,718	29.9	3,694	24.2	2,855	29.1

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 5,155百万円 (76.5%) 2021年3月期第2四半期 2,920百万円 (69.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	194.30	—
2021年3月期第2四半期	115.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	70,539	59,619	84.5	2,411.59
2021年3月期	65,773	56,088	85.3	2,268.87

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 59,619百万円 2021年3月期 56,088百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	50.00	—	65.00	115.00
2022年3月期	—	85.00	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	—	—	85.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	19.2	11,500	50.5	11,750	52.4	8,800	56.9	355.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、8ページ「2. 四半期連結財務諸表 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期2Q	28,699,500株	2021年3月期	28,699,500株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	3,977,259株	2021年3月期	3,978,451株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期2Q	24,721,509株	2021年3月期2Q	24,720,650株

(注) 当社は、業績連動型株式報酬制度 株式給付信託 (BBT) 及び株式給付信託 (J-E SOP) を導入しており、当該信託に残存する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルスに関してワクチン接種が進んでいる地域では経済活動の正常化に向けた動きが見られましたが、変異株による感染再拡大も懸念され、加えて資源・エネルギー価格の高騰や米中間の緊張が続き、世界経済は不透明感が一層強まりました。一方、世界半導体市場は、新型コロナウイルス感染拡大による生活様式の変化とそれに伴う情報通信の高度化に対応する最先端半導体デバイスの需要増加に加え、自動車向け等の従来型半導体デバイスの需要回復により、市況は堅調に推移しました。

こうした状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高25,291百万円（前年同期比23.8%増）、営業利益6,158百万円（前年同期比65.6%増）、経常利益6,357百万円（前年同期比72.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,803百万円（前年同期比68.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本につきましては、最先端半導体デバイス向けCMP製品及びシリコンウェハー向け製品の販売が増加したことにより、売上高は15,766百万円（前年同期比33.2%増）、セグメント利益（営業利益）は売上増加に加え製品構成の良化により5,555百万円（前年同期比59.3%増）となりました。

北米につきましては、CMP製品及びシリコンウェハー向け製品の販売が増加したことにより、売上高は3,153百万円（前年同期比12.7%増）、セグメント利益（営業利益）は製品構成の良化により348百万円（前年同期比55.2%増）となりました。

アジアにつきましては、最先端ロジックデバイス向けCMP製品の販売が好調に推移したことから、売上高は5,537百万円（前年同期比10.0%増）、セグメント利益（営業利益）は1,226百万円（前年同期比17.6%増）となりました。

欧州につきましては、CMP製品の販売増加により、売上高は835百万円（前年同期比10.5%増）、セグメント利益（営業利益）は93百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

主な用途別売上の実績は、次のとおりであります。

シリコンウェハー向け製品につきましては、半導体業界の高い稼働に支えられ、ラッピング材の売上高は2,985百万円（前年同期比38.3%増）、ポリシング材の売上高は6,007百万円（前年同期比32.9%増）となりました。

CMP向け製品につきましては、ロジック、メモリ向けともに需要は好調に推移し、売上高は12,155百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、SSD（ソリッドステート・ドライブ）への置き換え及び一部顧客の事業撤退に伴う生産終了の影響により、売上高は790百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、自動車及び産業機械向け需要の回復もみられ、売上高は2,140百万円（前年同期比26.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、4,765百万円増加し、70,539百万円となりました。これは、投資有価証券が620百万円減少したものの、有価証券が2,400百万円、受取手形及び売掛金が1,451百万円、現金及び預金が641百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、1,234百万円増加し、10,919百万円となりました。これは、買掛金が600百万円、未払法人税等が374百万円、株式給付引当金が170百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、3,530百万円増加し、59,619百万円となりました。これは、利益剰余金が3,176百万円、為替換算調整勘定が215百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、最先端半導体デバイス向けCMP製品及びシリコンウェハー向け製品の販売が増加したことから、売上高及び利益が予想を上回る結果となりました。最近の業績動向及び原材料価格の動向を鑑み、2021年8月3日に公表した2022年3月期通期業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日付で別途開示しております「業績予想及び期末配当予想の修正並びに剰余金の配当（第2四半期末配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,424	30,066
受取手形及び売掛金	9,098	10,549
有価証券	1,900	4,300
商品及び製品	4,048	4,260
仕掛品	999	1,018
原材料及び貯蔵品	2,278	2,650
その他	231	374
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	47,967	53,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,553	6,432
その他(純額)	7,022	7,247
有形固定資産合計	13,575	13,679
無形固定資産		
	440	399
投資その他の資産		
投資有価証券	2,562	1,941
繰延税金資産	1,117	1,192
その他	119	128
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	3,789	3,253
固定資産合計	17,806	17,332
資産合計	65,773	70,539

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,880	3,481
未払法人税等	1,274	1,649
賞与引当金	1,438	1,555
役員賞与引当金	—	57
株式給付引当金	—	474
その他	2,714	2,554
流動負債合計	8,309	9,771
固定負債		
繰延税金負債	0	1
退職給付に係る負債	901	898
株式給付引当金	329	25
その他	144	222
固定負債合計	1,375	1,148
負債合計	9,684	10,919
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,570	5,570
利益剰余金	50,303	53,480
自己株式	△5,448	△5,445
株主資本合計	55,179	58,358
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	321	445
為替換算調整勘定	685	901
退職給付に係る調整累計額	△97	△86
その他の包括利益累計額合計	908	1,260
純資産合計	56,088	59,619
負債純資産合計	65,773	70,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	20,427	25,291
売上原価	10,985	12,959
売上総利益	9,441	12,332
販売費及び一般管理費	5,722	6,173
営業利益	3,718	6,158
営業外収益		
受取利息	42	27
受取配当金	14	15
固定資産売却益	1	81
その他	42	82
営業外収益合計	101	207
営業外費用		
支払利息	2	2
為替差損	107	—
固定資産除却損	0	2
その他	15	4
営業外費用合計	125	9
経常利益	3,694	6,357
税金等調整前四半期純利益	3,694	6,357
法人税、住民税及び事業税	1,000	1,686
法人税等調整額	△160	△133
法人税等合計	839	1,553
四半期純利益	2,855	4,803
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,855	4,803

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	2,855	4,803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109	124
為替換算調整勘定	△55	215
退職給付に係る調整額	11	11
その他の包括利益合計	65	351
四半期包括利益	2,920	5,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,920	5,155

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,694	6,357
減価償却費	815	802
長期前払費用償却額	0	0
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	57	56
賞与引当金の増減額 (△は減少)	143	111
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	32	13
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	139	170
受取利息	△42	△27
受取配当金	△14	△15
支払利息	2	2
為替差損益 (△は益)	7	△2
固定資産除売却損益 (△は益)	△0	△79
売上債権の増減額 (△は増加)	107	△1,398
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△214	△543
仕入債務の増減額 (△は減少)	179	544
未払金の増減額 (△は減少)	281	47
その他	346	△205
小計	5,535	5,833
利息及び配当金の受取額	57	44
法人税等の支払額	△857	△1,423
法人税等の還付額	37	76
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,773	4,530
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,313	△1,811
定期預金の払戻による収入	2,934	2,532
有価証券の取得による支出	△500	—
有価証券の償還による収入	99	100
有形固定資産の取得による支出	△601	△764
有形固定資産の売却による収入	1	81
無形固定資産の取得による支出	△16	△26
その他	0	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,395	103
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,176	△1,627
自己株式の取得による支出	△0	△1
その他	△25	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,202	△1,660
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	91
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	145	3,066
現金及び現金同等物の期首残高	22,919	29,418
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,064	32,484

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高へ与える影響はありません。

また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	11,840	2,798	5,032	756	20,427	—	20,427
外部顧客への売上高	11,840	2,798	5,032	756	20,427	—	20,427
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,797	550	121	—	4,468	△4,468	—
計	15,637	3,348	5,153	756	24,896	△4,468	20,427
セグメント利益	3,487	224	1,042	82	4,837	△1,118	3,718

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,118百万円は、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費△1,070百万円及び棚卸資産の調整額△50百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	15,766	3,153	5,537	835	25,291	—	25,291
外部顧客への売上高	15,766	3,153	5,537	835	25,291	—	25,291
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,070	565	175	—	4,811	△4,811	—
計	19,836	3,718	5,712	835	30,103	△4,811	25,291
セグメント利益	5,555	348	1,226	93	7,223	△1,064	6,158

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,064百万円は、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費△1,054百万円及び棚卸資産の調整額△16百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。